

令和7年度ぐんま DXハイスクール指定校における tsukurun サテライト及び ぐんま DX 人材育成プログラム企画・運営業務 仕様書

1 業務の名称

令和7年度ぐんま DX ハイスクール指定校における tsukurun サテライト及びぐんま DX 人材育成プログラム企画・運営業務

2 趣旨・目的

全産業でデジタル化が進展し、利益を生む価値の源泉がシフトする中、県が強みとしてきたものづくりを活かした、新たな産業が求められている。人口減少社会で規模の経済を追えない現状では、デジタルスキルを備え、新たな価値を創造する人材の育成が必要である。

そのため、群馬県においては、デジタルスキルを備え、新たな価値を創造する人材育成の拠点として、小中高生を対象とした tsukurun -GUNMA CREATIVE FACTORY-を令和4年3月に設置したところである。

本事業は、県全域でのデジタル人材育成に向け、設置を希望する DX ハイスクール指定校内に tsukurun サテライトを設置することで、県全域でのデジタルクリエイティブの機会提供を行うこと、並びに県内の高校生等を対象とした研修会及び成果発表会を実施することで、これからのデジタル社会を生き抜くために必要な資質・能力を育むために充実したものとなるよう支援を行うことを目的とするものである。

3 業務委託期間

契約締結日（令和7年6月を予定）から令和8年3月31日まで

4 委託予算額

17,500,000 円（消費税額及び地方消費税額を含む）を上限とする。

5 業務の内容

本業務の内容は以下のとおりとし、具体的な人材育成内容、ソフト、研修内容等については、県教育委員会、tsukurun サテライト設置校（以下、設置校という。）、委託事業者が相談しながら進めるものとする。

(1) tsukurun サテライトの企画・運営

①管理・運営業務

- ア tsukurun の利用に関する受付・案内業務
- イ 利用者の管理(利用者アンケート等を実施し、利用者情報と合わせて記録すること)
- ウ 消灯、戸締り、鍵の管理
- エ PC 等機材の保守・管理(利用者の使用機材・ソフトについて記録すること)
- オ 建物内の清掃作業(開館前に毎日実施。委託も可。)
- カ ホームページの更新作業、SNS(X、FaceBook、Line)等による広報、必要な素材の作成。
SNS 等については適切に運用を行うこと。
- キ 利用者増大のための企画・運営業務
- ク 必要に応じて、各種視察・施設案内などに対応すること
- ケ その他、tsukurun サテライトの運営・管理に必要なこと

②人材育成業務

以下のデジタル分野を軸に人材育成・指導を行う。なお、初心者から中上級者まで、それぞれのスキルに合わせて楽しんで学ぶことができる人材育成が行われることが必要であり、tsukurun と同じメンバーズカードシステムを利用すること。また、スキルの到達度合いを評

価するシステムとして、tsukurun バッジシステムを運用すること。なお、以下の人材育成内容、ツール等に加えて、別の提案も可とし、最終的には県と委託事業者が相談の上、決定するものとする。

ア 3DCG

- ・体験内容：モデリング、シェーディング、リギング、アニメーション等
- ・ツール例：Blender、Zbrush、MAYA、3ds Max、Mudbox 等

イ ゲームプログラミング

- ・体験内容：プログラミング理論の基礎から、ゲームの動きを付ける演算等
- ・ツール例：Unreal Engine、Unity、Scratch 等

ウ 2DCG

- ・体験内容：デジタルツールを使った絵画、ペンタブ、デジタル作画等
- ・ツール例：CLIP STUDIO PAINT、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe Fresco 等

エ VR、VFX

- ・体験内容：VR 空間上での創作、映像合成技術、視覚効果等
- ・ツール例：Open Brush、VRChat、Adobe Premiere Pro、Adobe Animate、Adobe Character Animator、Adobe After Effects、OBS Studio 等

オ 映像編集、DTM スキル

- ・体験内容：映像編集、BGM、効果音作成 等
- ・ツール例：Adobe Premiere Pro、Studio One 5 Professional、初音ミク NT 等

※tsukurun バッジシステムとは、3DCG・2DCG・ゲームプログラミングについて、スキル到達度合いを評価するシステムである。ベーシックレベルとは、各スキルの基本的な操作を理解し、最低限の応用ができるレベルを指す。

(2) ぐんま DX 人材育成プログラム企画・運営

① 県内高校生等を対象とする研修会の実施

〈対象者〉 希望する県内高校生及び県内中等教育学校生徒(1 回当たり 15 名の出席とする)

〈開催回数〉 計 24 時間以上とする。4 時間で一つの連続した講座とし、それぞれの会場において 2 講座以上実施する。

なお、実施時期は休日及び夏期休業中を想定しているが、県教育委員会と会場校及び受託者が相談の上、決定するものとする。

〈会場校及び PC の台数〉

- ・tsukurun TAKAJI(高崎女子高校)デスクトップ PC8 台
- ・tsukurun ISESAKI(伊勢崎高校)デスクトップ PC7 台、ノート PC7 台
- ・tsukurun AGATSUMA(吾妻中央高校)デスクトップ PC4 台、ノート PC1 台

〈研修内容〉 教科「情報」や探究活動に資する知識・技術の向上を図ることを目的とした技術指導とする。

(研修例) ・「プログラミング講座」(2 回 計 4 時間)

・「生成 AI 講座」(2 回 計 4 時間)

なお、研修内容の詳細は、提案内容を参考とし、県教育委員会と受託者が相談の上、決定するものとする。

〈研修資料〉 県教育委員会と受託者が相談の上、受託者が準備するものとする。

〈研修機材〉 研修で受講者が使用する PC 等の端末は、tsukurun サテライトの機材を使用する。

なお、PC の不足分の他、研修に用いる機材については、研修が円滑に実施できるよ

う、必要数を受託者が準備するものとする。

〈講師〉講師は、各回において、研修する分野を専門に教えることができるティーチングスタッフを1名以上、アシスタントスタッフを2名以上派遣すること。

〈その他〉研修会の効果的なPRを検討・実施すること。なお、この内容例については各提案者の提案内容を具体的に定義するものではなく、各提案者において最良と考える方法を提案すること。

②県内高等学校等の教職員を対象とする研修の実施

〈対象者〉県内高等学校等の教職員(1回当たり10名程度出席を想定)

〈開催回数〉計18時間以上とする。3時間で一つの連続した講座とし、それぞれの会場において2講座以上実施する。

なお、実施時期は、夏期休業中を想定しているが、県教育委員会と会場校及び受託者が相談の上、決定するものとする)

〈会場校及びPCの台数〉①県内高校生等を対象とする研修会と同じとする。

〈研修内容〉3Dモデリング・3Dプリンタの使用法やVRゴーグルを活用した仮想空間の作成に関する知識及び技術を高める実技を中心とした研修とする。

〈研修例〉・3Dプリンタ及び3D空間の活用

なお、研修内容の詳細は、提案内容を参考とし、県教育委員会と受託者が相談の上、決定するものとする。

〈研修資料〉県教育委員会と受託者が相談の上、受託者が準備するものとする。

〈研修機材〉研修で受講者が使用するPC等の端末は、tsukurun サテライトの機材を使用する。

なお、PCの不足分の他、研修に用いる3DプリンタやVRゴーグル等については、研修が円滑に実施できるよう、必要数を受託者が準備するものとする。

〈講師〉講師は、各回において、研修する分野を専門に教えることができるティーチングスタッフを1名以上、アシスタントスタッフを2名以上派遣すること。

〈その他〉研修会の効果的なPRを検討・実施すること。なお、この内容例については各提案者の提案内容を具体的に定義するものではなく、各提案者において最良と考える方法を提案すること。

③成果発表会の企画・運営業務

〈成果発表会の概要〉本成果発表会は、DXハイスクール指定校の生徒が、本事業を活用して実施した探究活動や課題研究等について発表することで、生徒の学びを深めるとともに、生徒の取組及び本事業について他校の教職員及び一般県民に広く周知する場とする。

〈開催時期〉令和8年3月21日(土)(成果発表会は3時間程度を想定)

〈発表者〉DXハイスクール指定校より3名ずつ、計72名程度を想定。全員がポスター発表を行うとともに、10タイトル程度がステージ発表を行う。

〈開催場所〉Gメッセメインホール

〈来場者〉DXハイスクール関係者(150名程度を想定)、その他SSHや高大連携事業等の指定校関係者(100名程度を想定)、一般観覧者(200名程度を想定)

〈委託業務〉以下のとおり

- ・成果発表会の構成(タイムスケジュール等)を作成し、県教育委員会と協議の上、決定する。
- ・広報資料のデザインを行う。また、イベントPRとして、SNS、メディアなど各種媒体を用いた効果的な広報を提案・計画し、集客確保のための広報の徹底を図ること

と。なお、資料作成に当たっては、県教育委員会と打合せを行い、イラストや平易な言葉を用いる等の工夫をすること。また、県教育委員会が資料作成する際には、アドバイスなどの支援を行うこと。

- ・県教育委員会と受託者が連携して、会場設営及び撤去をイベント当日中に行う。
- ・会議当日は、参加者の受付業務、成果発表会の進行业務を担う。なお、受付システムを活用するなどし、参加者の取りまとめ、参加者リストの作成、連絡、調整を行うこと。
- ・発表者が活発に成果発表できるような工夫をすること。

〈その他〉研修会の効果的なPRを検討・実施すること。

(3) その他

県教育委員会及び設置校が必要とする施策・業務に係ること。

6 tsukurun サテライトの実施場所、要件等

(1) 高崎女子高校

場所:群馬県高崎市稲荷町 20 番地

開館回数:週 2 回程度(高崎女子高校、県教育委員会と協議の上実施する。)

開館時間:15:00~18:00

人員配置:開館時にはスタッフを 1 名以上配置し、少なくとも週 1 回は複数分野の指導ができる能力のあるスタッフを配置すること。

(2) 伊勢崎高校

場所:群馬県伊勢崎市南千木町 5239-1

開館回数:週 2 回程度(伊勢崎高校、県教育委員会と協議の上実施する。)

開館時間:14:00~18:00

人員配置:開館時にはスタッフを 1 名以上配置し、少なくとも週 1 回は複数分野の指導ができる能力のあるスタッフを配置すること。

(3) 吾妻中央高校

場所:群馬県吾妻郡中之条町 1303

開館回数:週 2 回程度(吾妻中央高校、県教育委員会と協議の上実施する。)

開館時間:17:00~20:00

人員配置:開館時にはスタッフを 1 名以上配置し、少なくとも週 1 回は複数分野の指導ができる能力のあるスタッフを配置すること。

7 成果品

(1) 月例報告

本事業に係る実績報告を作成し、翌月 10 日まで(契約期間満了日の属する月については、契約期間満了日まで)に報告すること。

(2) 勤務実績表

本事業に従事した職員の勤務実績表を作成し、翌月 10 日まで(契約期間満了日の属する月については、契約期間満了日まで)に報告すること。

(3) 事業報告

事業終了後速やかに、事業実施の成果をまとめた事業報告書を提出すること。なお、事業報告書は公開を前提とする。

(4) 成果物

本委託事業内で制作した素材・データ等の成果物については、編集可能な状態で納品すること。

(5) 随時報告

その他、月例報告、事業報告とは別に実績や進捗状況等に関する報告を求める場合がある。

8 その他

- ・本業務の成果は、全て群馬県に帰属する。
- ・本仕様書に記載のない事項等については、その都度、県教育委員会との協議により決定する。
- ・請求時に、県教育委員会が示す事業ごとに内訳を記載し、請求すること。
- ・スタッフは、tsukurun との連携を図り、デジタルスキルの向上に努めること。